

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	楽器レッスン4（楽器テック）	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	必要に応じて資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	遠山倫広		実務経験の有無・職種	有、ローディ、楽器テック	
学習目的					
この科目を受講する学生は、プロの世界が協働の場であることを理解し、ミュージシャンとしての楽器知識を得るとともにコンサート制作現場での職業についての知識も『楽器テック』を中心に学習する。出演者、裏方共通してどのような知識が必要で、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようになるのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、学生が、日々の音楽活動においての楽器の扱い方を学び自分の機材をベストな状態を保てるようになる。またバンド活動などで、他パートの機材知識知ることによってセッティングの時間短縮、音色の理解につながるアンサンプルの向上、リハ、本番での作業効率の向上することができる。プロになって活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会で協働することの重要性を理解することなどができるようになることが目標になる。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、まず講師よりその回のテーマとなる機材について基本的な使用方法、注意点などをレクチャーする。その後実際に機材を使い実践して知識を習得する。回を重ねることで楽器全般の扱いを理解し。他のミュージシャンの機材も扱っていく。				
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。職業実践の観点から、授業中の受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	20%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	機材研究②		セクターなどを使いアンプを使い分けてみる		
2回	現場見学②		楽器フェア見学		
3回	ギター研究		ストラト、レスポール、フロント、リア、などギターの特徴を考察する		
4回	ベース研究		プレベ、ジャズベなどのベースの特徴を考察する		
5回	ドラム研究		ドラムチューニングでキャラクターの違う音に変える		
6回	マニピレーターについて		マニピレーターの仕事内容と重要度を理解する		
7回	FOH環境について		ライブ時におけるFOH環境と楽器の出音の関係性を理解する		
8回	Real Dreams RH見学		Real Dreams MU科RH見学		
9回	音作りまとめ		音作りまとめ		
10回	リハーサル①		バンドのリハーサルに立ち会いどのようなことを決めているか理解する		
11回	リハーサル②		バンドとともに音作りをする		
12回	PA基礎Ⅱ③		学生のみで簡易PAセット組む		
13回	講師バンド実習Ⅱ③		プロバンドのセッティング、サウンドを理解し学生のみでセッティングできるようになる		
14回	講師バンド実習Ⅱ④		プロバンドのセッティング、サウンドを理解しFOHの音も出す		
15回	まとめ		後期まとめ		